

いじめ防止プログラム指導者養成講座（参加者数31名）

1. 所属

	人数
1.学校関係者	6
2.医療関係者	1
3.法務関係者	0
4.福祉関係者	2
5.行政関係者	2
6.企業関係者	4
7.NPO	3
8.学生	7
9.その他	6
計	31

5. その他
マスコミ関係者、アーチスト、元ボクサー、ライター、テニスクラブ代表、主婦など

参加動機

1	中学校の生徒指導専任教諭です。いろんなトラブルの矢面に立つ仕事をしています。暴力事件の件数が、全国、毎年、更新中。もがいてはいるのですけれども、うまくいっていない。エンカウンターも全校に導入して3年たつのですが、現実的には、とても荒れている状態です。暴力団、暴走族、薬物にも無縁ではないし、不登校、いじめが多く無力感を感じています。昔からいろいろなプログラムの研修を受けていますが、自分で「これだっ」というものがなかなかありません。やはり自分できちんとアレンジして、ほんとに目の前の子どもたちに、使えるものにしていかなければいけないと思います。以前から神奈川県「いじめ防止プログラム」には関心はありましたが、参加する機会がなかったので、今回何かヒントになるものが欲しいなと思って来てみました。
2	「いじめ防止プログラム」養成講座の案内を見てとても興味をもったから参加することに決めました。
3	PTA役員や学校評議員などをやってきました。子どもの通う学校でいじめがあります。自分の子どももいじめられています。子ども達のかかわり方が、いじめなのか、からかいなのか見ていると判断できないことが多くあります。中学校でも表向きはおだやかな学校生活をみんなおこなっていますが、裏ではいじめが起きているのです。今の子どもたちの非常に微妙な人間関係の中で、学校と保護者どう向き合っていくのかわからない、今悩んでいます。学校と家庭だけでは解決が難しくなっている状況なので、何か手だてをもとめて参加しました。
4	映像の制作会社で、テレビ番組やイベントの演出をしています。先日見たポスターに小学校1年生から6年生まで、いじめに遭ったことがない人は、1割くらいだと載っていて、ちょっとショックを受けたのです。ただ自分を振り返ってみると、いじめに何もかかわりなかったかという点、そんなこと全然なくて、いろいろな経験をしてきている。何かとても苦しい思い出がある。今そういった問題を、自分の中の苦しい思い出も振り返りながら、もう一回見つめ直せたらいいなと思っています。
5	教員をしています。来年度、たぶん中学校1年生の担任になることを予想して、何かヒントになることがあるかもしれないなと思って来ました。
6	今、企業の中で、「いじめ予防プログラム」の開発をしています。それに役立つということだけでなく自分自身にとっても向上できるものになればいいなと思って参加いたしました。不登校の専門カウンセラーもしていました。いじめられて、学校に行けなくなってしまった子どもの相談も受けています。
7	スクールカウンセリングを事業を行っています。現状の対処活動だけではなく、予防活動にも力を入れたいと思って、当団体でもいじめ予防プログラムをつくっています。スクール・カウンセラーの活動は、わりと事後措置的なケアが多いです。今後はスクール・カウンセラーたちが、いじめが起きないためにはどうしたらいいかということで、先生や保護者の方、児童・生徒・学生たちと話し合っていくように、予防プログラムを作っているところです。すでに、神奈川で実践している団体があるということで参考にしたいと思ってきました。自分の子どももいじめとは無縁ではないため、非常に興味をもっています。
8	教員志望でいま勉強をしています。いじめは誰にでも起こり得ると思います。自分が教師になったとき、かかわりのある子どもたちを、守れるようになりたいな、少しでも知識を付けたいなと思って、今回このプログラムに参加しました。
9	心理学を勉強しています。暴力を受けた子どもとその自尊心について勉強したいなと思って参加しました。子どもの自尊心は、どのようにしたら高まるかについて学びたいと思います。
10	私は、中学・高校でスクール・カウンセラーをしています。長年高校の教員をやっておりました。いじめが過去にあった子で、それを何年も経って、やっと話せるようになった子もいるので、対応スキルをさらにアップしたいと思って参加しました。「いじめ防止プログラム」を、学校の先生方に広めたり、自分の活動(カウンセリング)の中にかかしたいと思っています。
11	仕事の中で、小中学校から「いじめに関して話せる方を紹介して欲しい」と相談を受ける機会があったため。また、自分の娘が言葉のいじめに傷つき、いま、悩みに悩んでいるという、とてもつらい状況の中で、ほんとに身近にこの問題を感じたときに、いろいろな方とお話をし、いろんなことを学んで、それを市内、地域に返して行って、子どもたちが変わっていけばいいなというふうにして参加しました。

12	心理カウンセラーの資格を取ったのをきっかけに、吸収できるものは何でも吸収しようと思って参加しました。カウンセリングを勉強するきっかけになったのは、不登校になった娘が原因です。ある日突然、いじめられ2年間すごく苦しみました。資格を生かして、同じように苦しんでいる方のお役に立てたらと思って参加しました。
13	私の所属しているNPOが、昨年10月に、ひきこもり支援相談士という資格を取り、引きこもりに関しての相談事業、家族会の立ち上げなどをやっている最中です。今度、引きこもりの中に不登校も入ることになったので、引きこもりの原因にいじめが関係するのではないかと思い、いじめの勉強をしにきました。
14	NPOで、DV、デートDVの問題にも取り組んでいます。湘南DVサポートセンターは、暴力防止の視点でDVといじめの予防活動している点がとても素晴らしいと思っています。「いじめ」や、子どもが自殺に追い込まれるような状態にならないように、NPOとして何かできればと強く感じています
15	私は看護師です。現在モチベーションアドバイザーという仕事も行っています。子どもたちとかかわっていく中で、いじめの問題に対する知識がなく、子どもが来たときに自信がなかったので学びにきました。
16	ライターで、基本的にはエッセーを書いています。子育てとか夫婦とか、認知症の話などをブログに書いたり本を出しています。ブログを書くときに、知らないということが一番の欠陥だと思っているので、何が知れるかは分かりませんが、日常生活で参考になる話が聞ければいいなと思って来ました。又、カウンセリングも勉強中でカウンセラーを目指しているので、この講座はそれにも役立つと思います。
17	養護教諭をしています。いじめや性の問題にどう対処したらよいか悩んでいます。抱える問題はほんとに大きくて、ちょっとほかの世界に飛び出して、いろんな方と知り合って、何か突破口が見つかれば、又、ほかにも自分のできることが見つかればと思って参加しました。
18	教師を目指しています。ここに来たきっかけは、今、特別教育実習で中学校によく行っているのです。その中で、普通のクラスに、やはりどんな子どもがいじめが起り得るということを実感しまして、ここに来ました。
19	大阪からまいりました。行政として、DVの観点から、いじめや虐待に関して、何かかわれることがあるのではないだろうか、その辺りのことを勉強させてもらいに来ています。「人権」「福祉」「教育」「児童」「女性」と縦割り行政の中で、横断的に取り組めるようなシステムを作りたいなという思いを持っています。
20	大阪からまいりました。行政で相談事業を担当しています。湘南DVサポートセンターは、いじめの防止とDV対策を一緒に取り組んでいる、全国でもまれなNPO法人なので、どのような内容なのか知りたいと思い参加させていただくことになりました。
21	三重県伊勢市の中学校から来ました。実は本校は1月末から、湘南DVサポートセンターの「いじめ防止プログラム」を実施することになったため、その精神、必要性の理解を深めておくことが大切だと思われ参加しました。また、プログラムの実施が単発的なイベントとして終わらないように、子どもたちへの配慮を継続していきたいと考えているため。心を大事にする教育をどんどん、どんどんやりたいなと思っています。
22	心理学を勉強しています。ずっとグループ・エンカウンターの名前だけを聞きつつ、何なのか全然知らなかったもので、ぜひやりたいと思って参加しました。
23	将来養護教諭になりたいと思って仕事をしながら勉強中です。「いじめ防止プログラム」のファシリテーターになればよいと思っています。
24	「いじめ防止プログラム」と「スクールバディ活動」に興味をもち、卒業論文にこのテーマを選びました。様々な学校を見学し、生徒や先生方からヒアリング調査を行い、まとめた論文をぜひ、読んでいただきたいと思います。
25	湘南DVサポートセンターと一緒に、「デートイング・バイオレンス防止プログラム」の講座を行っています。歌を通して若い世代に暴力防止を訴えたいと思って参加しています。

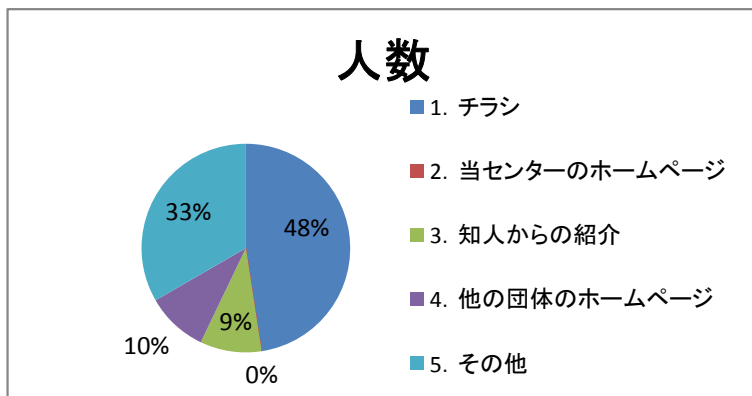
2011年1月22日(参加者数23人)

1. 本プログラムの開催を、何で知りましたか

	人数
1. チラシ	10
2. 当センターのホームページ	0
3. 知人からの紹介	2
4. 他の団体のホームページ	2
5. その他	7
計	21

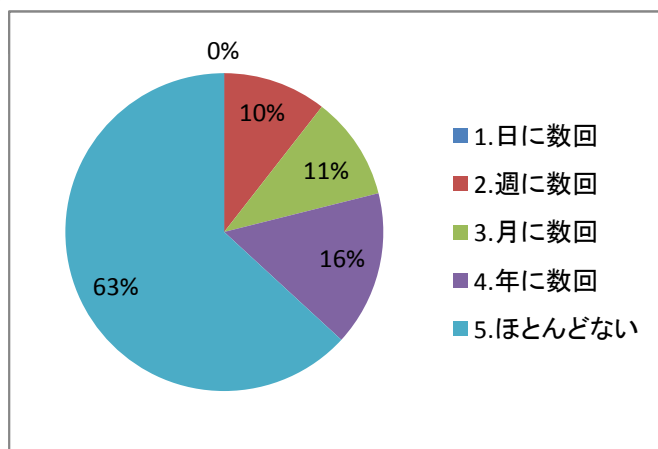
1. チラシを入手した場所
 大学の事務課、学校養護教諭の相談係、豊島区中央図書館、職場(ボランティアセンター)、神奈川女性センターの配下台、さいたまDV講演会、湘南DVサポートセンターの研修

5. その他
 ネットで「虐待」の検索をしていて、インターネットホームページ「ボラ市民web」、教育新聞、記事、スタッフのメールから、朝日新聞



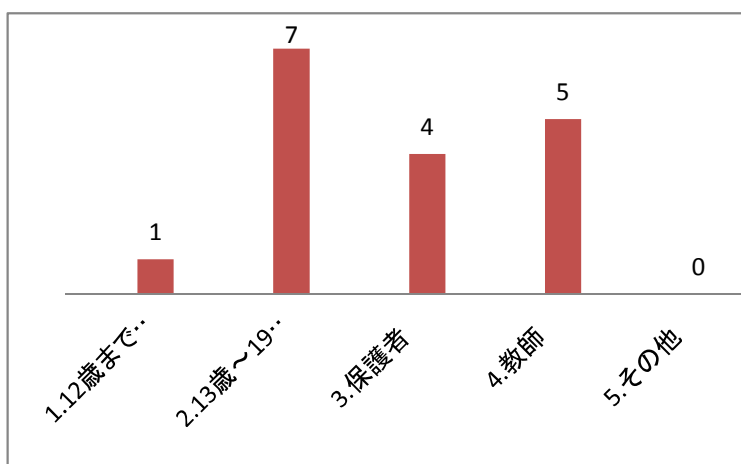
2. あなたは、いじめの相談を受けることがありますか？

	人数
1.日に数回	0
2.週に数回	2
3.月に数回	2
4.年に数回	3
5.ほとんどない	12
計	19



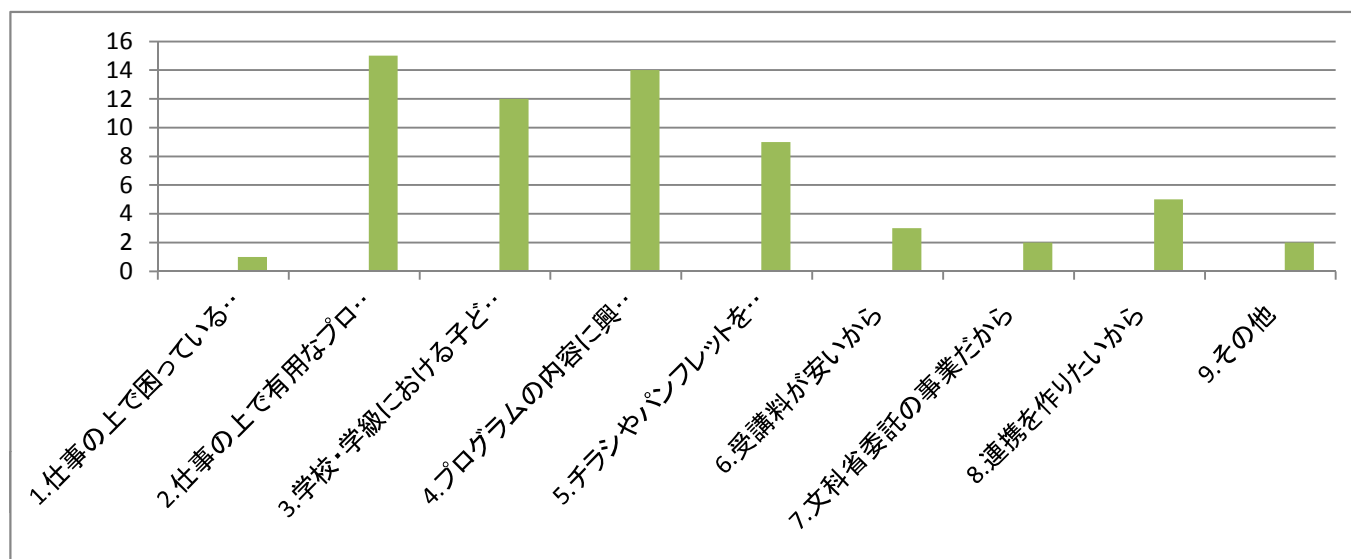
3. 2で、相談を受けるとお答えの方にお聞きします。だれからの相談が多いですか。(複数回答可)

	人数
1.12歳までの子ども	1
2.13歳～19歳までの子ども	7
3.保護者	4
4.教師	5
5.その他	0



4.何故、この研修会に参加しようと思いましたか？(複数回答可)

	人数
1.仕事の上で困っていることがあるから	1
2.仕事の上で有用なプログラムだと思ったから	15
3.学校・学級における子どもたちの人間関係や心理状態を知りたいから	12
4.プログラムの内容に興味があったから	14
5.チラシやパンフレットを見て興味をもったから	9
6.受講料が安いから	3
7.文科省委託の事業だから	2
8.連携を作りたいから	5
9.その他	2



5. この研修に何を望みますか？

1	中学校の現場に本当にプログラム化して導入できるのか。また教育的効果をどれくらい期待できるのか。
2	いじめを受ける側の心理はわかるのですが、いじめをする側の心理はよくわからないので、それを知れたらと思います
3	学年単位でどのような取り組みができるかのヒント
4	現在の学校教育の実態・生徒達が望ましい人間関係(いじめがおきないように)を築けるようなマニュアルを知ることができればなおさら！
5	実践的手法を学びたいです。
6	いじめを防ぐための実践的ノウハウ
7	どうすれば少しでもいじめられている側、いじめている側両方の自尊心が高くなるか知りたい。
8	集団への介入の基礎的なスタンス・方法・留意点
9	いじめの現状を知りたいと思ってます
10	「いじめへの効果的なプログラムと実践・予防」
11	自分に、僕に何が出来るか。
12	いじめを防ぐためにできる子ども達への働きかけ・いじめられている子、いじめっ子への対応
13	何というよりも、知ることが出来ることはできるだけ多く。
14	何と具体的なものより、きっかけがつかめるとうれいです。
15	各回で留意すべきポイント・実際にあった生徒や先生からの質問
16	「自分をさらけ出すことをためらる中学生」「本音を出せない中学生」にアサーティブな言語活動・アクションの能力を育むにはどんなアプローチが考えられるのか？日々考えさせられていることなのでヒントをいただければうれいです

6. ご自分のお仕事や活動に活かせると思いますか？

1	今までSGEやGWT、ピアサポート、SSTなど少しずつ関わってきたが暴力防止にストレートに使える活動であってほしい
2	劇団で演劇をやっておりますが、人の心理や感情が必ず関わるものなので、活かせると思います。また、大学の学びにも必ず活かせると思います。
3	何かかならず役に立つと思います。
4	「いじめ防止マニュアル」の中に、少しでも取り入れることができれば…。マニュアルだけでなく人生において役立つことであれば全ての仕事場にとってオールマイティーなことである
5	スクールカウンセラー20名に伝えたい。
6	生徒を守る(被害者、加害者ともに)
7	プログラムとして先生方に紹介。自分が実践する(どこかのクラスで)。カウンセリングの中で部分的に使う。
8	まだわかりません。
9	DV・デートDVなど女性問題に取り組んでいるなかで「いじめ」は切ってはなせないものと思っているので。DVへの深い背景理解と解決のヒントになると思います。
10	僕はキックボクシングトレーナーとWPMA(ワールドポジティブモチベーションアドヴァイザー)として、サルトヴァナシア代表として一生懸命楽しく生きています。キックボクシングで世界チャンピオンになって、普通の人よりも痛みをわかっていると感じてるのでいじめをなくすアドバイスをしていきたい。いじめとは意地と目だと思っています。ひとりひとり、意地をはず目を見て気持ちの中を判断していきます。
11	キックボクシングを教える上で「いじめられない。いじめない強い精神、優しさ」を伝えたい。又、そういった子どもたちからの相談を受けた時にも活かしたい。
12	5の回答のように、どう活かせるかはわからないが、知ることによって伝えられる事(受け入れられる事)もあるかなと。
13	まだわからない。将来に役立つと思う
14	勤務校がめざしている「一人のもれなく安心して学べる学校」を実現するための自助・扶助・互助・共助ができる集団作りに生かせると思います。

7. ご自由にお書き下さい

1	本日は大変楽しく勉強になりました。学校現場の生き生きとした感じを知ることができました。
2	体験型が主な内容だったので、本当に貴重なセミナーでした。全ての内容を途中やりきれなかった(時間の都合上)のが残念でしたけど、身体で覚えるやり方は印象に残りますね！
3	いろいろな人の意見や考えが聞くことができ興味深かったです。
4	参加型であったので、気が楽になりました。(社会人の方がほとんどで、緊張していましたが、参加型で色々お話ができたので。)
5	今のところありません。
6	先生のお話は大変おもしろかったですし、感動しました。何か生かしていきたい。1年間個別教室へ行っていた生徒さんの手紙、涙が出ました。
7	養護施設や児童相談所の税金の負担は現実的な問題ですが、防止に費用と使わなければ解決につながっていかないと思います。
8	とても楽しく勉強になりました。阿部先生のお話を聞いて本当に良かったです。とてもチャームングで素敵な方でした。また会えるのを楽しみにしています。
9	なんだか中学生に戻ったような優しい気持ちになりました。すばらしい先生のお話が聞いてうれしかったです。ありがとうございました。
10	阿部先生、とても素敵なお話ありがとうございました。同じ中学生を育む職に就いている者として、共感させられるとともに、学校にもどったら、「また、がんばろう」と活力を与えていただきました。遠方からの参加ですが本当に来て良かったです。

2011年1月29日(参加者数21人)

ご自由にお書きください。

1	お天気を使って自分の気持ちをあらわす、とってもわかりやすくていいですね。
2	写真や体験によって実際のプログラムの様子が少しずつ実感されてきました。ピラミッドの一番上が抜けた時、その下が「安定」させようとしてわりをつとめる。この話はとてもよくわかりました。
3	いじめ防止プログラムを活性化させる上で、やり方や各クラスの状況把握、今の現場で通用させる上での厳しさなど貴重な意見を聞くことができてよかったです。後学にもなりました。また、阿部先生のように生徒になった気持ちでワークを体験させて下さったのも実感できたうえでよかったです。ただ、今回はいじめの理解を深めるという深刻なテーマだったせいか、一方的な話が多くて退屈な気持ちになってしまいました。また、瀧田先生が熱く語る姿も良く感じられた時もありましたが、(感じ方なのでしょうか)少々感情的になって語っている様子もみられて威圧感が芽生えてしまい、残念です。そして、時間がオーバーしてしまった部分におきましては、効率が悪いなど思いました。スクールカウンセラーの小山先生や熱く語る小林さんがとても印象的でした。特に「いじる」ことが「いじめ」につながることでもあり、生徒や学校側の立場の違いを上手く語ったコメントが感慨深かったです。
4	いじめ防止プログラムを活性化させる上で、やり方や各クラスの状況把握、今の現場で通用させる上での厳しさなど貴重な意見を聞くことができてよかったです。後学にもなりました。また、阿部先生のように生徒になった気持ちでワークを体験させて下さったのも実感できたうえでよかったです。ただ、今回はいじめの理解を深めるという深刻なテーマだったせいか、一方的な話が多くて退屈な気持ちになってしまいました。また、瀧田先生が熱く語る姿も良く感じられた時もありましたが、(感じ方なのでしょうか)少々感情的になって語っている様子もみられて威圧感が芽生えてしまい、残念です。そして、時間がオーバーしてしまった部分におきましては、効率が悪いなど思いました。スクールカウンセラーの小山先生や熱く語る小林さんがとても印象的でした。特に「いじる」ことが「いじめ」につながることでもあり、生徒や学校側の立場の違いを上手く語ったコメントが感慨深かったです。
5	「いじめとは？」「いじめをする人」のイメージを問われて、それぞれについて自分が具体的なイメージをあまりもっていないことに気づきました。いじめについて、生徒たちに意見を出してもらうことで、生徒達がいじめの問題を考えることはとても意義があることだと思えました。しかし、生徒の意見でどのようなものが飛び出すかわからず、臨機応変に対応する難しさも感じました。
6	最初やった「今の自分の気分」で、天気にあらわして手をあげるというのをやった後に、「今自分がどんな気分なのか、手をあげることができる事を喜んで(良いことだ)と思って」と言われたことがとても印象に残りました。自分がどんな気持ちなのか、とても辛い思いをしている子は封じ込めてしまうのかとショックでした。
7	具体的でわかりやすかった。クラス全員へのプログラムなので、傷つきを防ぐために気を配らなければならないということが実感できた。集団対象のプログラムの中から真のやさしさや強さが表現されるのが、すばらしいと思った。
8	ありのままの自分を認めてもらえるという経験は、残念ながら今の子ども達の中ではあまり保障されていないように思います。目の前の中学生同士を見ていても「個性の重視」といいながら、同じ価値観でない相手に対して冷たくあつたりと…。今回のプログラムで子ども達が「ありのままの自分でいい」と強く感じとり、自己肯定感・自尊感情を育てることができるなら、そこから「いじめ防止」への第一歩が始まるように思います。風通しのよい、「安心してすごせる学校」をめざして、またがんばろうと思える、とても素敵な時間をすごさせていただきました。ありがとうございました。
9	具体的に説明してもらえて、とても分かりやすかったです。いじめる側の気持ち、いじめられる側の気持ちを描きだして客観的にみることはとても良いと思いました。具体的に現場で子ども達がどう変わるのかを見てみたい。
10	具体例が多く挙げられており、イメージがつきやすかった。写真で学校の様子もよくわかり良かったと思います。
11	ありがとうございました。勉強になりました！感じたことは、ひとりひとりがいろんな思考があるということです。それと、いじている子どもや世の中に憎しみや怒りをいじめている人もいるんだなあとびっくりしました。
12	実際にどのようにプログラムが行われているのか流れが分かった。
13	親として人としてはとても勉強になりました。ただ、実際一人でプログラムができるわけではないので大きなバック(組織)が必要だと思いました。学ぶのみ…で終わるのかもという残念感も今日は感じました。説得と納得の違いという言葉、胸に響きました。
14	具体的なプログラムの内容に入り、本当に興味深く聞きました。どの学校にも、あたりまえのようにこのプログラムが導入されるとよいと、本当に感じました。現在は昔のように地域や家庭、社会が人間関係を育む力をもたなくなっています。子ども達は、学ぶべきものを経験すべき体験をしないまま、育っています。あらゆる方法で多くの経験をしてほしいと思います。今後の研修からもいろいろ学び、自分の力にしていきたいと感じています
15	ワークに実際参加することで、生徒側はどんな気持ちや姿勢でワークに臨むかを知ることができた。また、実際ワークを導入する時の苦労話などもとても参考になった。あと、講師の方が工夫している、注意している点を聞けると今後ファシリテーターになる時の参考になっていいと思う。
16	実際に中学校で行われている内容を体験してみて、皆、いじめに対して含まれることは共通の認識にあり安心しました。先生のおっしゃった、1回なら大丈夫でもやり続けられることで傷付くということ、よくわかりました。実際の子どもの反応を見てみたいです。ただ、中学生、小学生はそれがいじめだとおもうことと、日頃考えなしに人に向けて言う言葉や態度が結びついてない気がします。事例や具体的な例が必要だと思う。先日高校の先生とお話するチャンスがあり、その時、今の子はいじめようと思ってする子は少なく、相手の気持ちのわからない、コミュニケーションの取れない子がふえていると言っていて納得したのですが、それは変えていくのが難しいかなと思えました。中学の先生は一部しかわかりませんが見るからにいじめでないと、そんなこと…という感覚の先生が多いように思われます。今はどちらかというと、精神的なものが多いのでは…大人が伝えることが伝えきれないとも思いました。

2011年2月5日(参加者数24人)

1	絵を描かせる意味や注意点など各アクティビティのねらいがわかってよかったです。なかなかこのプログラムは、いじめの中心的生徒へのターゲット指導としては使えないように思うが、集団やとりまき、被害者生徒の支援に有効だと思います。ハード面での厳しい指導(警察など)とソフト面でのこうした予防・開発的指導は、両方欠かせないと常々思っています。
2	本日は実際に手を動かすことで、参加する生徒の立場に立てて良かったです。「加害者のイメージ」では、白紙のところ次第にイメージが作り上げられていく道程がおもしろく、また、発表者の発表によってさらに具体的になったのが大変おもしろかったです。みなさん色々発言されて、考えがきけてよかったです。
3	自分と同じ班の方達がフォローやサポートをしてくれたので、緊張感や不安がとけてありがたかったです。初めて組んだ方もいましたが、大分馴染めました。いじめっ子の像や自分の好きな部分を実践させていただけたのも貴重な体験となりました。班のみんなで話し合った時、自分の価値観との共通点が見えたのもあって、素晴らしい作品が出来たので達成感があります。発表を行った時に、瀧田先生や他の皆さんからの意見が自己理解にもつながったので、また新しい自分を発見することができてとても良かったです。瀧田先生がたまに個人的な質問をストレートにされるのは、結構刺激的ですね。残すところ皆さんと一緒できるのも後わずか2回となりましたが、最後まで一生懸命頑張って仲良くワークに取り組んでいきたいです。また、よろしく願います。
4	子どもにワークを行い、体験的に理解させることは素晴らしいやり方だと思います！このようなワークを増やしていきたいです。全国に。
5	エクササイズの詳細な注意点等が良かったです。時計の話、マジックの渡し方、実践的な講座で役に立ちそうです。参加させて頂き、ありがとうございました。
6	境界についてのワークショップが視覚的にとてもわかりやすかったです。いじめの加害者のイメージをグループで書く作業では絵にしてみることで自分の考えがよりはっきりし、他の方の意見もよく伝わってきたことが新鮮でした。
7	模造紙に書くワークショップを体験できてよかったです。自分が、心の傷を持っている子ども達を何とかしたいと思っていることがわかりました。つまりこのワークショップは、各々の参加者の心の底で思っていることが出てくるのだと思いました。
8	自分がやってみると、目の前で見ると、また感じる思いは違います。小さな注意点もとても勉強になりました。テキストもわかりやすいです。
9	またまた勉強になりました。言葉では、うまくいえないんですがわからないこといっぱいありあつという間の3時間でした。ありがとうございました。
10	いじめのイメージを紙に書くという1つのタイトルでも色々な表現があると思った。自分の大好きなところを書くのは、大人もコミュニケーションの1つとして有効だと感じた。学校の体罰については難しい問題で、親が学校に求めていることも変化しているんだと思った。
11	具体的なプログラムで大変参考になりました。実際に、子どもに実施してみたらどんな反応だろうか・・・など考えながら聞きました。ありがとうございました。
12	境界を守ること=いじめを止めるという考え方が「なるほど」と思いました。
13	今回初めてこの様な講座を受講し大変勉強になると思います(今後も)。普段から、いじめに関しては本当に関心があり、学校での子ども達のいじめがなくなるのは、大人社会の反映であるとも考えています。次回の講座も楽しみにしています。
14	グループワークは他者の思いを共有する場としてすごく有効であると思います。特に今の子どもたちは自分の価値観と異なるものに対する許容度が低いので、いろいろな人との交流で価値のすり合わせができれば、他者理解にもつながると思われれます。「個性の時代」と言われて久しいにもかかわらず、均一化することで安心を得るという変な思考を払拭できればと常々思っていますが、その点で、グループワークに大きな意味があると感じました。いじめ防止プログラムを受けてのフォローアップ体制を現場でどのように設定していくかも大きな課題ととらえます。これは、教育条件整備に関わりませんが、「子ども達のために」大人がすべきことを行政もしっかり考えてほしいと思いました。
15	自分がやってみると、目の前で見ると、また感じる思いは違います。小さな注意点もとても勉強になりました。テキストもわかりやすいです。
16	ワークショップをすることで、お互いが近くなるので楽しかった。自分大好きワークはとても良いと思った。自尊心を持つことで単品を認める心を持つということ、良くわかりました。今の子どもはその点が欠けている気がします。もっと、人の気持ちを思いやれるワークを考えていけたら良いですね。

2011年2月12日(参加者数20人)

ご自由におかきください。

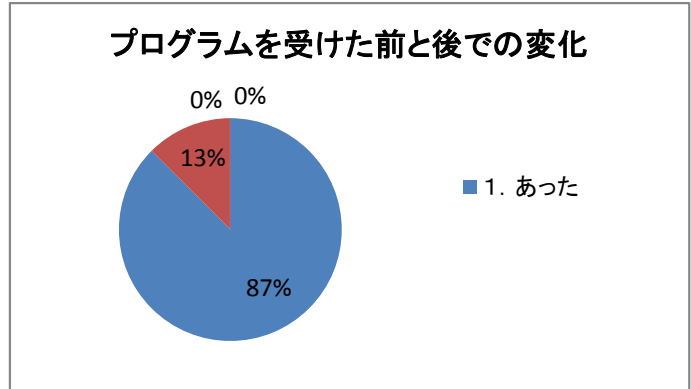
1	アサーションのショート劇は使えそうです。
2	非常に楽しみながら出来ました。実際のプログラムでも楽しみながら出来たら良いと思います。
3	とっても楽しい時間でした。先日自尊心ワークを小学校で行う現場を見させていただき、今日その指導、進行方法をなだったので、完璧です。っていうほどではありませんが、細かいところまで考えられて、積み重ねられているワークを提供していただいていることに改めて感謝♪
4	多くの出会いと多くの学びがありました。ロールプレイに出していただいて良かったです。また各学校でのプログラムの生々しい感想も聞けました。
5	初めてアサーショントレーニングを実践して、みんなが納得する応答の働きかけを発見できました。自分が今まで習ってきた中で、1メッセージのような伝え方に似ているように感じられました。また、ブログのような自己広告を作成したワークでは、自分の趣味に共通した方に会い、新しい友達が出来ました。輪が広がって良かったです。これも1回のワークだけでなく、何回か皆さんと会ってで「人となり」を知ることが出来たからだと思います。今、つながっている方々やこれから出会う方々も含め、「人を大事にする」意味で今回の実践を活かしていきたいです。最後も班の人達と協力し合って、皆さんの気持ちにうったえるような奥深い内容のプログラムを作成できるよう頑張ります。
6	子どもにも分かりやすいアサーションを展開していて素晴らしい！今後もっと子ども達に伝えていきたいです。
7	アサーティブの意味が感覚的に理解できました。
8	アサーションの生徒向けのアプローチがわかりやすくてのしかったです。よくある場面設定がよかったと思います。私もやってみたいです。尚アサーションは保護者会や先生方の会で1～1、5Hで行うととてもいいようです。
9	今日も勉強になりました。とても楽しいので時間がはやいです。また来週お願いします。
10	5年で中学13校、小学4校というのは正直「少ない」と思いました。その原因は何だと思えますか？あと、進めていくためにしていることはなんですか？「やられたらやりかえす」という気持ちに対してどうするように指導しているのですか？あとおい調査ができていく(いじめの増減の変化)と思うが、(そのプログラムの効果を)どう評価するのか。
11	コミュニケーションスキルは、現在の子どもにとっても大切なスキルであると思います。この講座で、内容の大切さは勿論感じましたが、実施・実現する場・時間の確保が課題であると実感しています
12	相手の尊厳を認めた自己主張のスキルを身につけることの大切さを痛切に感じます。人それぞれの境界線を理解した上でのアサーションが徹底できたなら、本当に心地よい人間関係が構築できるのだらうと思います。1つ気になるのは、他者に対しての境界線までの距離が長い子どもに対して、それを「弱さ」と決めつけてしまう傾向が一般的に見られること。「自分は平気なのになぜ？」と自分のスケールで測ってしまうことに慣れてしまっている子ども達の習慣を崩すことはなかなか難しく、でもそれができないと効果も小さいような気がします。「ありのままがいい」のひや自分だけでなく、周りの人すべてにあてはまることの理解を深めたいと思いました。そして、いろいろな場面で「アサーティブ」なコミュニケーションが出来たかどうか、子ども達と考え続けていきたいとも思いました。
13	アサーション、家庭の中でまずやってみよう、提案してみようと思いました。

2011年2月19日(参加者数26人)

1. 本プログラムを受ける前と受けたあとで、どのような変化がありましたか

(1) 仕事や活動の上で参考になることがありましたか

	人数
1. あった	14
2. 少しあった	2
3. ほとんどなかった	0
4. なかった	0
計	16

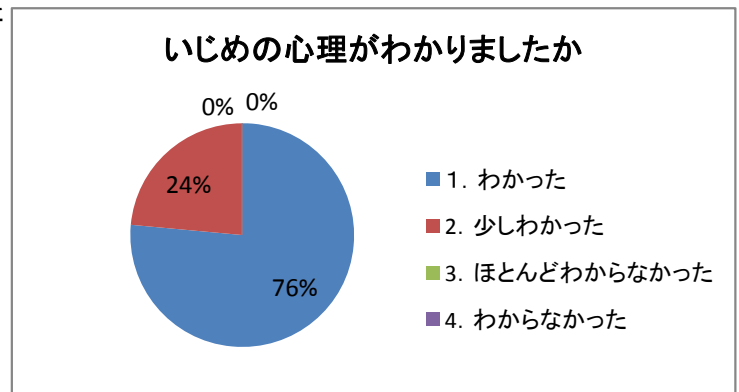


その理由をお聞かせください

1	やってみないと体験してみないとわからない。よ〜くわかった
2	コミュニケーションを基本とすることがベースになっていると確信できたので、参考になった。
3	活動そのものより、学校外で違う職種や立場の人と出会ってとても新鮮であり、それぞれの立場で熱意を持っていることにとっても刺激を受けた。ありがとうございました。
4	5回のプログラムが本当によくわかった。他の職の人の考え方がよくわかった。
5	湘南DVサポートセンターの活動内容に関してもよく分かりました。
6	「心地よい集団作り」をめざす上での手法として有益性を感じ、子どもの心への投げかけ、振り返りをさせることができたから。
7	構成的グループエンカウンターについてもっと学びたいと思った。実際のプログラムにおいての生徒への対応の様子が学べた。
8	アサーションや構成的グループエンカウンターを初めて実践しました。自分自身で望ましい人間関係の教育プログラムの方法を学習できました。
9	大学で学べないことだったので。大学で論文を書く上で参考にしたいと思いました。
10	子どもだけでなく、大人同士のコミュニケーションにも活かせると思った。
11	実際にプログラムを行う側としての心構え(注意)等を学べたから。
12	人とのコミュニケーションのやり方がわかった。

(2) いじめの被害者、傍観者、加害者の心理がわかりましたか

	人数
1. わかった	13
2. 少しわかった	4
3. ほとんどわからなかった	0
4. わからなかった	0
計	17

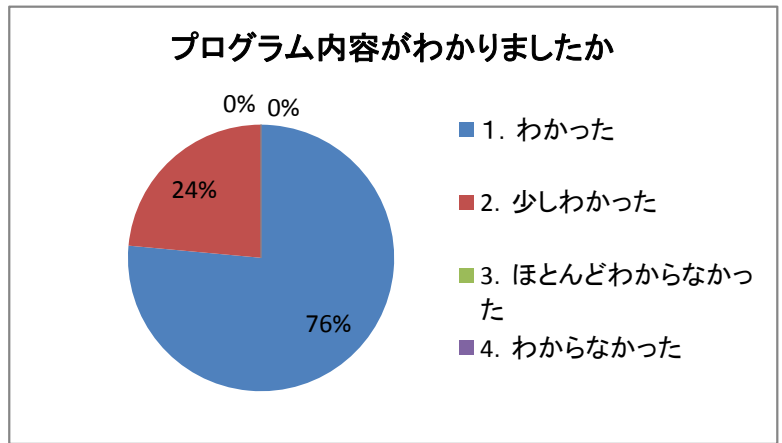


その理由をお聞かせください

1	具体的に書いたり聞いたりしたこと被害者、傍観者、加害者の気持ちを直視できた。
2	特に傍観者のつらさを実感できた。
3	やっぱりなと思った。今までも現場で調査や取り組みをしてきたが、もっと生々しいものもあり、どこでも同じだと思った。
4	言語化して発表していったから。
5	自分達がプログラムを通じて自身で考えることで、理解が深まりました。
6	「いじめ→ダメ」というわかりきった構図でなく、それぞれの立場を「共感」しながら客観的に分析することができたから。
7	最後にいじめの劇を行って今の心境、心の声を素直に演技力で発揮できました。
8	いじめの被害者、傍観者、加害者など、それぞれの声が聞けたので。
9	大人になって忘れていた部分、又、3者の立場の苦痛を知った。
10	ここまでしっかり加害者について考えたことはなかったが、今回の講座で考えることができました。

(3)本プログラムの内容は分かりましたか

	人数
1. わかった	13
2. 少しわかった	4
3. ほとんどわからなかった	0
4. わからなかった	0
計	17

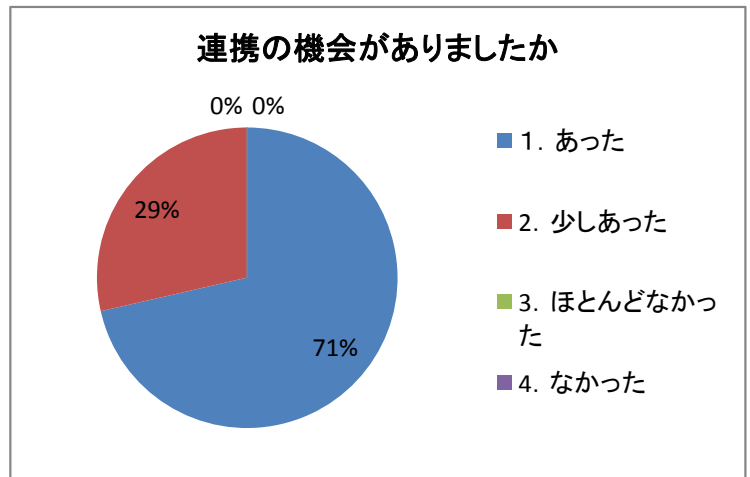


その理由をお聞かせください

1	もう少し勉強しないと。自分の中にじくりとり入れる時間が必要だと思う。
2	寸劇などわかりやすいWSの紹介があったので、良く分かりました。
3	被害者の回復プログラムやスクールバディーについては、もっとくわしく知りたくなった。
4	実際にやったから良く分かった。
5	1・2回目は出ていないのですが、3・4・5回目の内容だけでも充実していました。
6	丁寧に楽しく学ぶ機会として工夫がされており、参加型学習のよさが出ていたと思われるから。(座学だけでは、一過性のものに終わりやすいですが、実感を伴うものは定着します。)
7	写真などで、実際の空気が見えました。特に生徒の反応の様子がわかるとリアリティがあります。
8	自分の肌で実感して学びました！
9	体験しながらだったので、わかりやすかったです。
10	実際に行ってみることでわかりやすかった。
11	実際に体験することができたから。
12	いじめを防ぎたいという気持ちがあるから、少しずつ分かり始めていくと思う。

(4)連携の機会がありましたか

	人数
1. あった	10
2. 少しあった	4
3. ほとんどなかった	0
4. なかった	0
計	14

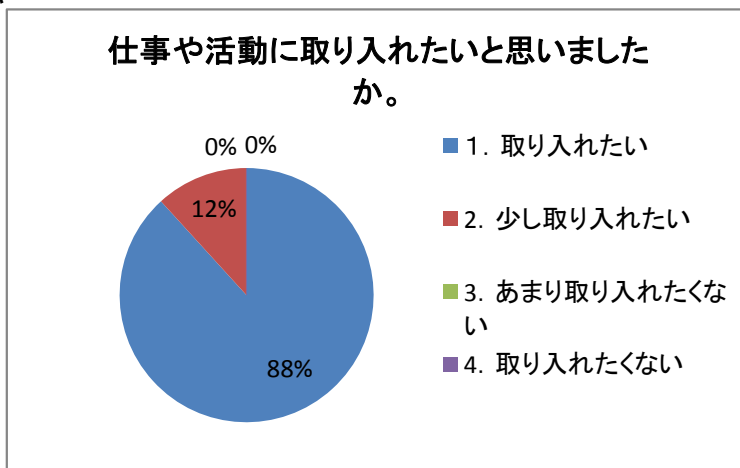


その理由をお聞かせください

1	皆でやるが多かったから、連携の機会があった。
2	連携の可能性を感じた。もっとこうした機会があるとうれしい。各ポジションで前線にある人たちの意見には、刺激がある。
3	メールを交換した人がたくさんいた。
4	これから、湘南DVサポートセンターの活動にも加わらせて頂きたいと思います。
5	1月末より、「いじめ防止プログラム」を本校でやっていただいて、どんな状況でも「子どもの心に寄り添うことの大切さ」を感じる機会になっています。(多くの子どもたちもそれを感じているようです。)
6	グループ仲良く、よく笑い、悩みあいました！
7	色々な職種の方と出会えた。
8	ここの場所であった方と仲良くなった。

(5) 仕事や活動に取り入れたいと思いましたが

	人数
1. 取り入れたい	15
2. 少し取り入れたい	2
3. あまり取り入れたくない	0
4. 取り入れたくない	0
計	17



その理由をお聞かせください

1	とっても役に立つ。
2	スクールカウンセリング活動に取り入れたい。
3	「いじめ防止プログラム」は心理・教育として効果があると思う。
4	この経験を仕事で活かしたいと思います。
5	学校に「いじめ防止プログラム」を取り入れさせていただいている。
6	たくさんのヒントをいただきました。
7	アサーションなど人とかかわっていく上でとても大切なことだと思った。
8	今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。
9	(将来的に)生徒あるいは参加者が実際、自分で考えて行動できるプログラムだから、取り入れたいと思った。
10	NPO活動に役立てたいと思います。

3. 本プログラムのよかった点、学んだことがあったらご記入ください

1	子どもの気持ちを体験できた。
2	具体的であったこと。
3	勉強になりました。
4	エンカウンター・アサーションを活用していきたい、伝えていきたいと思った。
5	自己開示の必要性を学べた。
6	アサーションのデモンストレーション他いろいろな。
7	大変多くのことを学びました。
8	ワークショップで学びを深めることの素晴らしさを感じることができた点とファシリテーターとして、促進する立場の重要性・意義が再確認できた点が良かったです。
9	ワークショップであるので、全身で参加することができました。
10	自由にお話するチャンスを与えてくれました。
11	実践的なところがすごく良かったです。アサーションを学べて良かったです。
12	現場の声がきけたし、こういう活動があるということを知れて良かった！
13	楽しくプログラムができたから、楽しいことは継続できる。

5. 本プログラムを、どのようなことに活用しようと思いますか

1	今の仕事に活用したい。
2	現在、開発しているデートDV防止プログラムの参考にしたい。
3	活動に参加して、地域に広めたい。
4	学校で広めていきたい。
5	NPO活動や劇団での活動で活用したいと思います。
6	子ども達の「心地よい人間関係」を築くための手法として活用していきたいです。
7	担任になる中学1年生の生徒の関係性の構築に役立てたい。
8	所属している企業のいじめ予防プログラムの作成役立てたい。
9	まず、自分が日々の生活の中で実行したいと思いました。(アサーション)
10	子ども、大人にかかわらず、良いコミュニケーションスキルとしてつかいたい。
11	子どもたちのモチベーションアップのために活用しようと思います。

6. ご自由に感想をお書きください。

1	ここが1つのクラスのように感じました。だからいろんなことを体験し、子どもの心になり、本当に感じる事ができました。ありがとうございます。
2	ありがとうございました。湘南DVサポートセンターの活動に参加させて下さい。
3	素晴らしい研修をありがとうございました！
4	いじめの防止にがんばっていらっしゃる人がたくさんいて心強かった。
5	大変参考になりました。ありがとうございました。
6	充実したプログラムを受講できて良かったです。引き続きよろしくお願いします。
7	遠方からの参加で、少し(かなり?)体力的には疲れましたが、異なる立場の方々との出会いは私にとって、新たな活動へのインセンティブになりました。貴重な時間をありがとうございました。
8	沢山学んだ上に楽しかったです。何より、瀧田さんはじめ、参加者のエネルギーを注入していただきました。
9	本当にたくさん得るものがあったうれしかったです！ありがとうございました！
10	いろいろな人の意見が聞けたのが、すごく良い経験になったと思いました。
11	実際に色々な立場の方の話を聞くことができ、勉強になりました！私達にできることから行動にうつしていきたいと思います。
12	だいたい行うことは知っていたが、実際にやる側になると新たな発見がたくさんあった。やっぱり自分でやってみるということがこのプログラムのポイントだと思う。
13	とても楽しく、すばらしいプログラムだと思いました。このプログラムはとても良いいじめ問題が少なくなると思います。ひとつ言いたいのは、自分の子どもは親が守るべきだと思いました。僕の子どもがいじめにあつたら、いじめがなくなるまで、学校に行って廊下から見守ります。それだけでいじめはなくなります。世界中の人が信じなくても、信じて見守ります。